

2020 事故防止・経験交流集会 開催報告

教遭委員 伊東春正 (かがりび山の会)

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨として、11月7日に千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所大ホールで交流会を開催した。

今回は、近場で日帰りとして多くの参加を呼びかけたが、コロナ禍の影響が参加が少なく、10会から21名の参加であった。

最初に、事故の概況報告を行った。

・事故原因別では、警察庁発表資料では道迷いが断トツトップであるが、労山ではわずか1%であることの理由を説明した。

・転倒事故防止のために、筋力とバランス力強化のための山筋ゴーゴー体操を推奨した。

・重大事故として2月に発生した凍傷事故の報告があり、個人装備（手袋）不備とパーティの行動上の問題があげられていた。

これから冬山を迎えるにあたり貴重な報告であり、各会で注意喚起していただきたい。

次に「コロナ時代の登山スタイルについて」3班に分かれてグループ・ディスカッションを行った。

各会とも、慎重に活動再開しており、主だった意見を列挙する。

・例会の回数を減らしている

・例会場所として ソーシャルディスタンスを確保できる広い会議室の確保に苦勞している

・LINE、ZOOM を使ってオンライン会議を行っている

・電車では、集団でいくのではなく、現地集合、現地解散としている

・体温計を共同装備品とした

・計画書にコロナの注意書きを追加した

・月一回、貸し切りバスで山行を行っている

・Goto トラベルを利用して安く行っている

午後最初は、ワンダーズアドベンチャー中山代表による「エベレスト登山の魅力と厳しさ、高所登山の心構え」の講演を行った。

エベレスト登頂の経験談、エベレスト街道の紹介、高山病対策の3つの内容だった。

2月に行った海外委員会での希望する海外登山のトップが、エベレスト街道だったため、タイムリーな講演であった。

スマホ・アプリ紹介では、ジオグラフィカの使い方と気象アプリ、救急医療、コンパスなどのアプリを紹介した。

最後のフリーディスカッションでは、ハイキング・縦走、クライミング・沢、会運営・会員教育の3つのテーマに分かれて意見交換を行った。

□ハイキング・縦走（8会9名参加）

熊対策として出会いの回避と遭ってしまったときの対処法、房総ロングハイクについて、毎年同じコースではなく他コースにするとか、複数コースがあってもいいのではないか、労山基金に対しては、ゲレンデスキーも対象としてほしい要望、などが出た。

□クライミング・沢（4会6名参加）

各会とも世代交代の中で、技術継承できず指導者不足が共通の課題である。県連主催でクライミングや沢の講習会を実施してほしい要望があった。

□会運営・会員教育（4会6名参加）

会山行計画の決め方、役員選出方法、山行リーダー育成、高齢化対策などを議論したが、1時間ではとても突っ込んだ議論はできなかった。

年間71回の会山行を実施、会員をランク分け、山行リーダー資格の設定などの話が聞けた。

以上、五つの項目を駆け足で行ったため、慌ただしく消化不良気味で終えた感がある。

コロナ禍の中、各会が例会を再開していることでもあり、あえて交流会を実施したが、異議を唱える声は聞かれなかった。

交流を図るため、グループディスカッションを2回実施したが、時間設定が難しかった。議論が進まなければ1時間がながく感じられ、活発な議論となれば1時間では短い、今回は後者で時間不足であったようだ。

開催後に寄せられた参加者のアンケートと併せて、次回開催につなげていきたい。

<事故事例報告>



<事故事例報告:個人装備品紹介>



<エベレストの講演>



<フリーディスカッション>



参加者の感想（抜粋）

□事故報告

コロナの影響か、今年度の事故報告は少なかったが、警察発表のデータと労山では事故判定の基準が違うので、道迷いが少ないことが理解できた。ただし、道迷いが少ないかというと、そうでもないのではないかと思います。

道に迷いそうになった事例。道迷いから脱出した事例など貴重な経験の交流もしたい。

□グループディスカッション（コロナ時代・・・）

各会の例会の仕方、連絡の取り方、山行の基準、等の話が聞けて参考になりました。

高齢の会員が多い会が多いので、それぞれしっかりと対策が取られていました。対策をした上で、貸し切りバスでの山行を行っている会もあり、禁止することより、どうしたらできるか??を考えている会も多かったようです。

□講演

これまでに、何度かパソコンで写真を見ながら、個人的にお話を聞く機会がありましたが、写真や動画を駆使してのお話しに、ますます『エベレスト街道』

や『5000m峰』に行きたくなってきました。特に、動画は、臨場感があり、感動しました。

□スマホ・アプリ紹介

具体的な手順など、詳しく準備いただいております、大変参考になりました。個人的には地形図に情報を書き込み、スマホ（GPS アプリ）は迷ったときのみ使用します。最近記録用に YAMAP を試していますが、10h の行動ではバッテリーが 5%程度まで消費します。このような点を考慮しながら、どのように活用するかも今後報告いただけるとありがたいです。

ジオグラフィック以外の山向けアプリは大変参考になりました。さっそく試して会内でも紹介したいと思います。

□フリーディスカッション

抱えている悩み（課題）は、何処の会でも同じようなものだな…と強く感じました。特に、『役員選出』、『会員の高年齢化』、『山行リーダーの養成』などですかね。会の運営をスムーズに行っていく上では、やはり役員のなり手がいないことは大きな課題だと思います。どのようにして今後のなり手を育てていくかを真剣に考えるべきと感じました（自戒を含めて）。

□全般

会場は一人一人離れて丁度良かったと思います。資料の事前送付は良かったです。参加者がパソコンから各自資料をダウンロードして持参するので良いと思います。

別件ですが県連の総会も事務所で印刷し製本して代議員に配るのは時間と労力の無駄だと思います。議案書を参加者に送り出席者が各自印刷して持参すればいいと思います。あるいはノートパソコンを持ってくれば良いと思います。

いずれにしても中身の濃い一日でした。今後もこういう場所で日帰りの開催を希望します。

以上